

ホスピス緩和ケア週間のイベントを開催

緩和ケアセンター センター長 なかたに としひこ
中谷 俊彦

日本ホスピス緩和ケア協会は、世界ホスピス緩和ケアデーに合わせて、国内各施設にイベント開催を勧めています。当院緩和ケアセンターでは「ひろめよう!!緩和ケア」をテーマとする附属病院のイベントを企画して、10月8日(午前10時～12時)、病院玄関ホールで、院内各部門のスタッフの協力により開催しました。



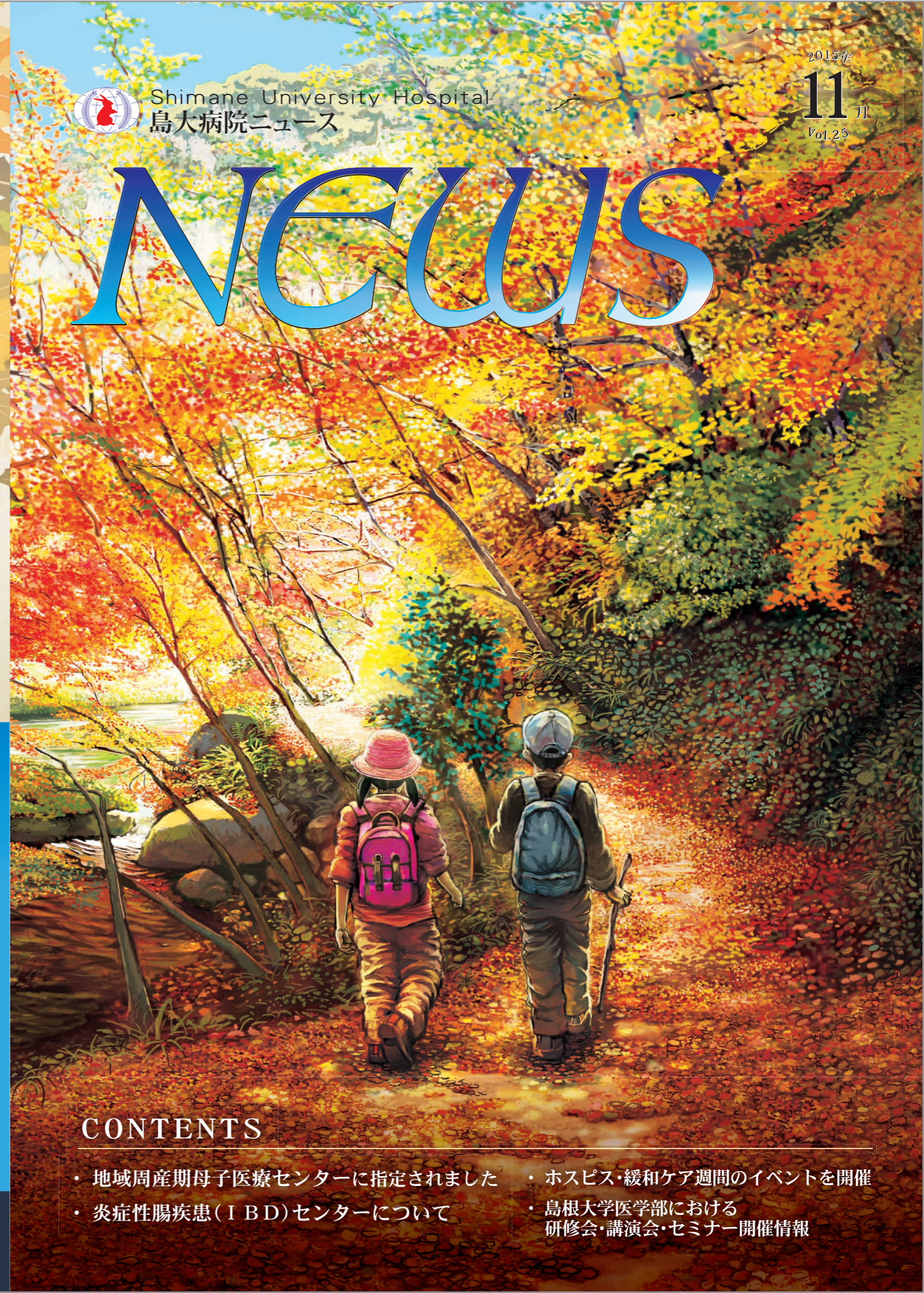
- 第1部
- ・病院長挨拶
 - ・院内職員臨時劇団の寸劇
 - ・緩和ケアミニ講座
 - ・相談コーナー
 - ・ビデオ上映
 - ・栄養補助食品の試食・試飲
 - ・リーフレット配布
 - ・ポスター・冊子・パネルの掲示

職員劇団による寸劇は、医療用麻薬を拒む患者さん(出雲弁ネイティブ)の誤解を解いていく内容で、熱演と解説ボードの登場などで患者さん・ご家族へわかりやすくアピールしました。参加者みなさんの関心は高く、用意した500部のリーフレットは全て配布できました。

第2部は、18時から島根大学医学部看護学科矢田昭子教授による「終末期患者の家族への支援」の講演会があり、活発な質疑応答も行われて今回のイベントを終えることができました。今後とも患者さん・ご家族への緩和ケア普及活動に努めていく所存です。



NEWS



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

11月15日～12月14日		対象者: 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生		
開催日	時間	場所(★印 学外開催)	対象者	開催名
11/15(日)	9:30～11:30	外来・中央診療棟3階 カフェテリアムだんだん	一般	平成27年度 島根県がんヒアリング相談会
11/15(日)	14:00～	★パルメイト出雲	一般	市民公開講座「むねやけ、便秘:あなどることなかれ」第3回:むねやけ あなどることなかれ!!ふたたび
11/16(月)	18:00～19:30	外来・中央診療棟2階 カフェテリアムさくら	医療 本学	心電図「すこし突っ込んだ話」第3回ほっとけない不整脈 頻脈編
11/21(土)	10:00～15:00	看護学科棟1階N11番教室 第2実習室	医療 本学	グループで学ぶ対人援助サービス職のためのコンサルテーション
11/21(土)	10:00～16:30	看護学科棟1階N12番教室	一般	平成27年度 島根県がん相談員等中央研修会
11/24(火)	18:00～19:00	みらい棟2階 共通カンファレンス	一般 医療 本学	地域医療セミナー「出雲弁の患者さんとコミュニケーションをとるために」
11/26(木)	18:45～20:30	みらい棟4階 ギャラクシー	医療 本学	出雲血液疾患セミナー
11/27(金)	13:00～18:00	外来・中央診療棟3階 カフェテリアムだんだん	医療	研修会セミナー
11/28(土)	9:00～17:00	看護学科棟1階N11番教室	医療 本学	平成27年度 出雲NST研修会
11/29(日)	14:00～	★パルメイト出雲	一般	市民公開講座「むねやけ、便秘:あなどることなかれ」第4回:便秘 あなどることなかれ!!ふたたび
11/29(日)	9:00～12:40	臨床講義棟2階 大講義室	一般 医療 本学	認知症予防・治療・介護の最前線シンポジウム2015
11/30(月)	18:00～19:30	外来・中央診療棟2階 カフェテリアムさくら	医療 本学	心電図「すこし突っ込んだ話」第4回ほっとけない不整脈 徐脈編
12/13(日)	14:00～	★パルメイト出雲	一般	市民公開講座「むねやけ、便秘:あなどることなかれ」第5回:便秘 あなどることなかれ!!!みたび

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。

CONTENTS

- ・ 地域周産期母子医療センターに指定されました
- ・ ホスピス・緩和ケア週間のイベントを開催
- ・ 炎症性腸疾患(IBD)センターについて
- ・ 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報



産科・婦人科

外来 TEL 0853-20-2389
 医局 TEL 0853-20-2268
 FAX 0853-20-2264

地域周産期母子医療センターに指定されました

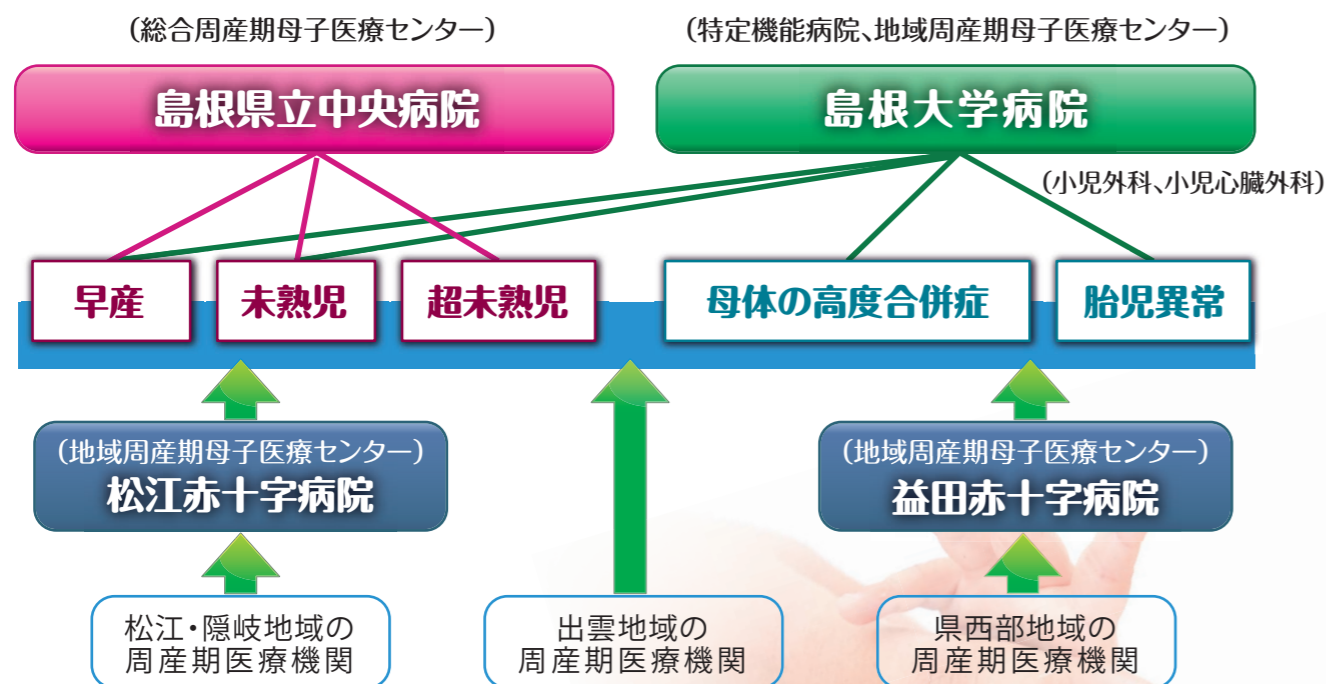
産科・婦人科 診療科長 京 哲 きょう さとる

当院はこれまで特定機能病院として、合併症妊娠や胎児異常など、高度な医療が必要な患者さんを受け入れることを使命として県の周産期医療の充実に携わってまいりました。一方、早産、未熟児は総合周産期母子医療センターである島根県立中央病院と地域周産期母子医療センターである松江赤十字病院、益田赤十字病院にて受け入れを行う役割分担が行われていました。

しかしながら2013年度より当院の小児外科、小児心臓外科の受け入れ態勢が整い、広く中国地方全域から搬送されるハイリスクの小児または妊婦が増加した結果、NICUの稼働が急増し、近隣施設からの母体搬送を受け入れできない状況が度々発生しておりました。このための抜本的対策として、NICUの後方支援ベッドであるGCUの設置(12床の予定)とNICUの移転の準備を進めております。

これに伴い、平成27年10月より島根県の地域周産期母子医療センターの指定を受けました。今後は他の周産期母子医療センターとの連携を深めながら、高難度の治療や手術を要するハイリスク妊婦、胎児異常に対応すべく体制を強化してまいりたいと考えております。

島根県の周産期医療体制の分担



問合せ先 産科・婦人科外来 TEL 0853-20-2389

消化器内科

外来 TEL 0853-20-2381
 病棟 TEL 0853-20-2493
 医局 TEL 0853-20-2190
 FAX 0853-20-2187

炎症性腸疾患 (IBD) センターについて

消化器内科 副診療科長 石原 俊治 いしはら しゅんじ

潰瘍性大腸炎 (UC) やクローン病 (CD) などの炎症性腸疾患 (IBD) は、厚生労働省の特定疾患に指定されている原因不明の難治性疾患で、いずれの疾患も最近の10年間で患者数が急速に増加しています (図1, 2)。島根県におけるIBDの患者数は2013年度でUCが837人、CDが207人ですが、この10年間における患者数はUCで2倍、CDで1.6倍と本県においても患者数の伸びは急速となっています (図3)。

患者数の急速な増加と治療法の多様性という側面から、診療に際しては消化器内科医だけでなく、消化器外科医、精神科医、薬剤師、栄養士、看護師、化学療法外来看護師、臨床工学技士、地域連携室スタッフなど、様々なスタッフのサポートが必要となります。そこで、これらのメンバーを中心としたIBDセンターを附属病院に設置することで、診断、検査、治療が円滑におこなえる環境を整え、チームとしてIBD診療をおこなっていきます。

県内あるいは県外の医療機関の皆様には、診断に苦慮する症例、難治性で寛解に至らない症例はもちろんのこと、IBD診療に関することであれば、どのような内容におきましても対応できる体制作りを目指しております。これまでの臨床経験を活かしながら、地域のIBD診療ネットワークの中心を担っていく所存ですので、気軽にご相談いただきますようお願い申し上げます。

問合せ先 内科外来 TEL 0853-20-2381

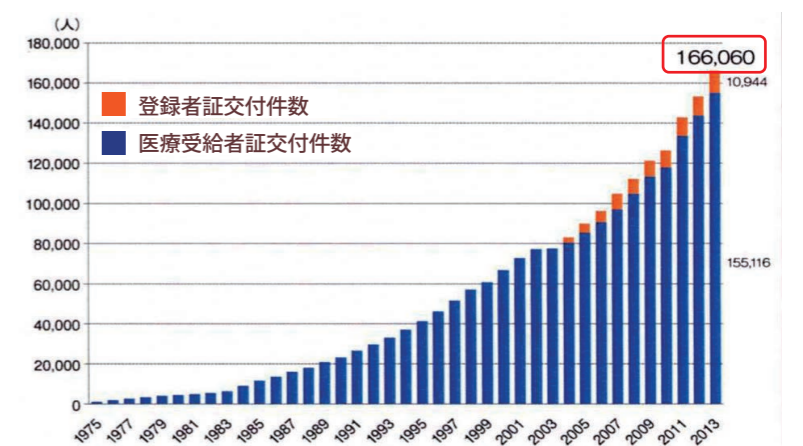


図1 潰瘍性大腸炎患者数推移 (医療受給者証・登録者証交付件数)

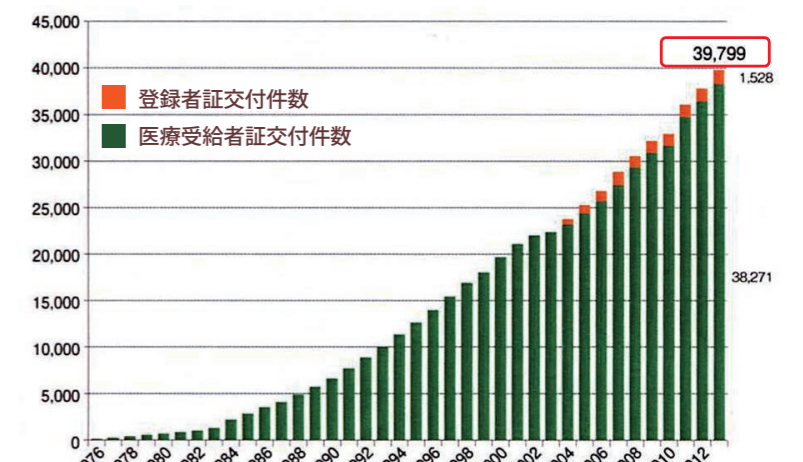
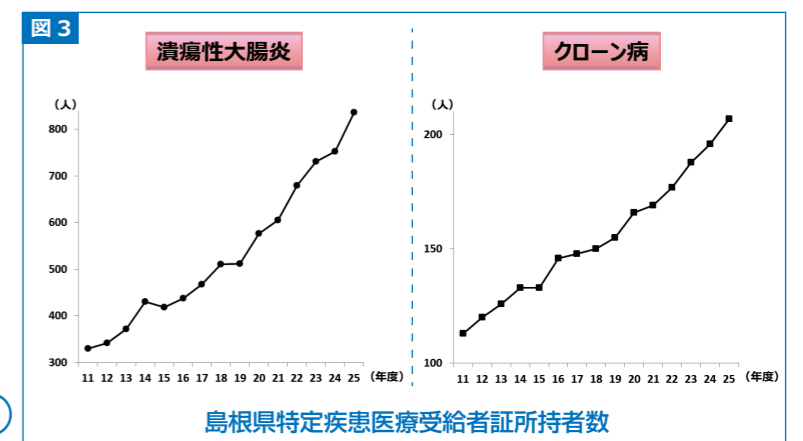


図2 クローン病患者数推移 (医療受給者証・登録者証交付件数)



島根県特定疾患医療受給者証所持者数



島大病院ニュース
2015年11月

お知らせ

「希少がん外来」を開始しました

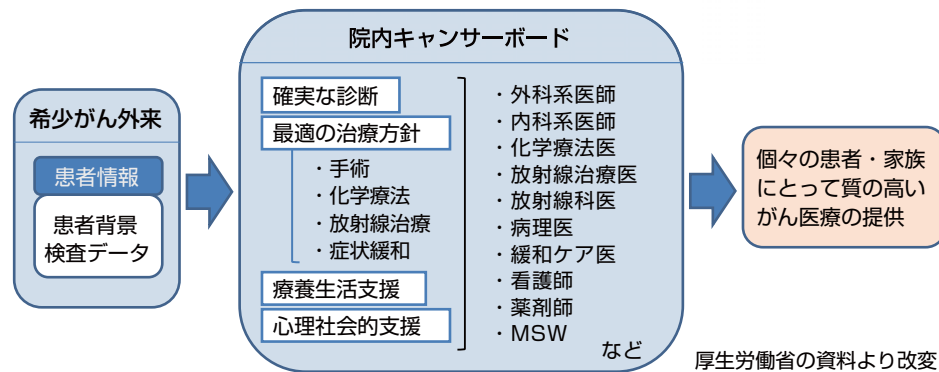
腫瘍センター センター長 すずみや じゅんじ
鈴木 淳司

「希少がん」とは、特定のがんのことをいうのではなく、年間の発生率が10万人当たり6人未満で、患者さんの数が少ないために診療や治療の課題が他のがん種に比べて大きいものをいいます。例えば、肉腫、悪性脳腫瘍、皮膚腫瘍などのことです。希少がんは、情報が少なく、そのため治療法の確立されていないことが多くあります。

当院では、院内がんセンターを定期的に開催し、希少がんの症例を含む治療方針の決定が難しいがん患者さんに関して、放射線科や放射線治療科、病理診断科、外科系のスタッフなどととも、症例を検討し、治療方針を決定し、治療を行っています。

希少がん外来では、ご紹介いただいた患者さんは、原則院内がんセンターで検討し、当院としての治療方針を決定します。担当科がはっきりしない、治療方針の決定が難しいがん患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介をお願い申し上げます。

●院内がんセンターを用いた希少がん外来の患者さんの治療方針の決定の流れ



問合せ先 腫瘍外来：0853-20-2398

●主な希少がんの種類

肉腫 (サルコーマ)	脳腫瘍
<ul style="list-style-type: none"> 骨の肉腫 軟部肉腫 子宮肉腫 GIST など 	<ul style="list-style-type: none"> 神経膠腫 膠芽腫 星細胞腫 中枢性悪性リンパ腫 など
皮膚腫瘍	眼腫瘍
<ul style="list-style-type: none"> 悪性黒色腫 有棘細胞癌 血管肉腫 乳房外パジェット病 など 	<ul style="list-style-type: none"> 網膜芽細胞腫 脈絡膜悪性黒色腫 眼内リンパ腫 眼瞼腫瘍 など
胸・腹部の希少がん	その他の希少がん
<ul style="list-style-type: none"> 神経内分泌がん 尿管がん 副腎がん など 	<ul style="list-style-type: none"> 聴器がん 腺様嚢胞がん 原発不明がん など

国立がん研究センター 希少がんセンター ホームページより

厚生労働省の資料より改変



島大病院ニュース
2015年11月

お知らせ

便通異常外来を行っています

消化器内科 診療科長 きのした よしかず
木下 芳一

本年度より当院の消化器内科では便通異常外来と言う便秘症を中心とした特殊外来を開始しております。完全予約制の専門外来で月曜日の午後に関しましては、便秘や下痢で悩む患者さんは多く、様々な治療が行われています。治療抵抗性の頑固な便秘や、繰り返す下痢は患者さんのQOLを低下させるだけでなく、大腸癌や好酸球性胃腸炎などの器質的疾患の混入を心配させます。便通異常外来では診療所、病院の先生方から紹介いただいた患者さんに一般的な精密検査を行うことに加えて、腸管通過時間の測定や腸内細菌叢によるガス産生能の測定、セリアック病のスクリーニング検査を行い、患者さんごとに最良の治療法を提案しております。病院内外にポスターを掲示しお知らせをしておりますが、便通異常でお困りの患者さんがおられましたらご紹介いただけますと幸いです。精査の上、最良の治療法を提案させていただきます。

便通異常(便秘と下痢)外来が始まりました



受診を希望される方は予約して下さい。
(連携センター 0853-20-2061)

※なお、紹介状がないと保険外併用療養費3,240円が必要となります。かかりつけ医の先生と相談され、紹介状をお持ちください。

便の回数、便の状態(量・色・形など)がいつもと異なっている状態を『便通異常』と言います。主に便秘や下痢のことを指しますが、誰もが一度は経験するこれらの症状が慢性的に続く場合には病気が隠れている可能性もあります。消化器内科では4月から毎週月曜日の午後『便通異常(便秘と下痢)専門外来』をスタートしました。気になる症状がおありの方は受診をおすすめします。

問合せ先 地域医療連携センター TEL：0853-20-2061 FAX：0853-20-2063



平成27年11月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL：0853-20-2069 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



平成27年11月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL：0853-20-2069 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2015年11月

お知らせ

しまね治験ネットの開始について

臨床研究センター治験管理部門長 なおり こうじ
直良 浩司

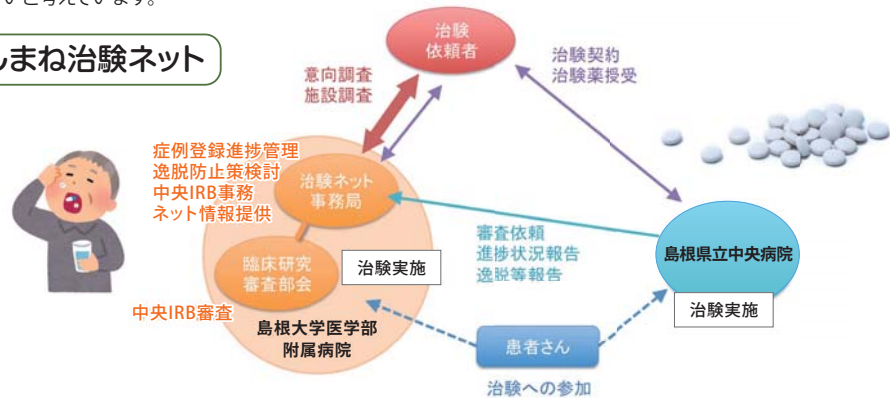
当院は本年9月より島根県立中央病院と協力して治験を実施する「しまね治験ネット」をスタートさせました。しまね治験ネットは、以下のような特徴を有しており、出雲市内に所在する2つの急性期病院である当院と島根県立中央病院において同一の治験を実施することで、治験手続きの効率化、症例エントリーの迅速化および症例集積性の向上を目指します。

- ・契約までの治験受入窓口を一元化(ネット事務局＝島根大学医学部附属病院臨床研究センター治験管理部門)
- ・合同ヒアリングの開催
- ・中央IRBによる審査
- ・治験経費算定方法の統一
- ・治験業務手続き、書式の統一
- ・しまね治験ネット Web サイトによる情報提供、など



このような仕組みにより、複数の医療機関へ別々に治験を依頼する場合と比較して、治験依頼者にとって事務手続きや申請書類の作成などの負担軽減、治験経費の節減などを図ることができ、当院や島根県立中央病院へ依頼される治験件数の増加が期待できます。このことは、これまでの治療で十分な治療効果が得られていない患者さんなどへ、治験という新たな治療法を試す機会をより多く提供できることにつながり、地域の皆様にとってメリットが大きいと考えています。

しまね治験ネット



問合せ先 臨床研究センター 治験管理部門 TEL：0853-20-2744



平成27年11月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2015年11月

お知らせ



どうぞお気軽に「ふらっと」をご利用下さい

患者図書室「ふらっと」は、患者さんやご家族が、病気や治療法について学んだり調べたりして理解を深め、また、ゆったりと読書ができる憩いの場所です。

「ふらっと」の名前には、「誰もが気軽に立ち寄って利用してほしい」との思いが込められています。

- 開設：2005年(平成17年)2月1日
- 場所：外来1階(待合ホール奥)
- 面積：25㎡
- 開室時間：平日8:30～17:15(土・日・祝・年末年始除く)
- 蔵書：約4,000冊(一般図書、医療関連図書約半々)
- 設備：インターネット検索用パソコン2台
- スタッフ：専任司書1名(ボランティア4名)
- 閲覧・貸出：どなたでも!!

☆週3回、病棟巡回貸出(出張貸出)をしています。

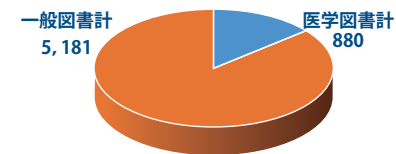
また、各病棟談話室に、ふらっと蔵書リストを設置し、読みたい本をリクエストしてもらい病室に届けるサービスもしています。病室から出る事が難しい患者さんにもとても好評です。



●【平成26年度利用統計】

	入室者数	貸出冊数	ネット利用件数	寄贈冊数※
年合計	5,998人	6,061冊	1,265件	554冊
日平均	26人	26冊	6件	2冊
月平均	500人	505冊	105件	46冊

● 26年度図書貸出内訳(冊)



※ふらっとでは、寄贈図書を随時受け入れています。

寄贈等に関するお問い合わせは、kanjalib@yahoo.co.jp または 0853-23-2160 までお願いします。



平成27年11月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2015年11月

お知らせ

病院内「市民ギャラリー」作品紹介



10月5日(月)より、全日本写真連盟の会員である、大成清美様、安部由美子様、嘉藤誠一様、松浦良光様の写真作品を展示しています。

展示内容の概要は以下の通りです。

大成 清美

「美」 平成23年 4月 「国画会」 写真部門 入選
「日本舞踊」 平成23年 4月 「国画会」 写真部門 出品

安部 由美子

「夢」 平成26年 4月 「国画会」 写真部門 入選
「祈り」 平成26年 4月 「国画会」 写真部門 出品

嘉藤 誠一

「雨あがり」 平成26年 11月 「第47回 島根県総合美術展」 優秀賞
「らせん階段」 平成27年 4月 「国画会」 写真部門 入選

松浦 良光

「アンティーク」 平成24年 4月 「国画会」 写真部門 入選
「モニュメント」 平成24年 4月 「国画会」 写真部門 出品

当院市民ギャラリーにお立ち寄りいただき、実際の作品をご覧ください。

今後も、市民の皆様から広く絵画や写真の作品を募集いたします。

詳細につきましては、当院のホームページ (<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>) に掲載しておりますので、ご覧ください。

この取り組みを通じて、今後、一層地域に根ざした病院となるよう努めて参りますので、引き続き、当院に対するご支援をよろしくお願いいたします。

申込・問合せ先 総務課企画調査係 TEL : 0853-20-2019



平成27年11月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

